

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 北

学 校 名 豊崎東小学校

学校長名 平 寿之

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・小学校では、第6学年 38 名

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年度は、国語については、全領域に於いて全国・大阪府の平均を上回っていたが、算数については、「数と計算」「変化と関係」「データの活用」の3領域に於いて全国・大阪府の平均を下回った。無回答率については、国語2.8%、算数2.1%と非常に低く、どの問題に対しても粘り強く取り組んでいる姿勢がみられる。児童質問紙では、「将来の夢や目標を持っていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目に於いて、「当てはまる」の割合が全国・大阪府の平均よりも上回っており、「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の肯定意見を合わせると100%であった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

すべての領域で全国・大阪府の平均を上回っている。「話すこと・聞くこと」の正答率は80%を越えるが「読むこと」の正答率は50%を下回っている。問題形式については、「選択式」「短答式」に強く、「記述式」を苦手とする傾向が顕著に表れている。

〔算数〕

全国・大阪府の平均を全般的に下回っているものの、「測定」は平均を上回っている。特に「変化と関係」では9ポイント下回っており、計算はできるが、式の意味を考えることが弱い。全体としても3ポイント低い。

質問紙調査より

基本的な生活習慣に関する項目「朝ごはん」「睡眠」「起床」に関しては、全国・大阪府と同程度であった。「将来の夢や目標を持っていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目は、全国・大阪府に比べて高いものの、自尊感情や自己肯定感、自発性についての項目については低い傾向がみられる。この傾向は、今年度だけではなく、これまでも挙げていた課題の解消は図れなかった。コロナ禍での取組を経て、「学習の中でコンピューターなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」などのICTへの意欲や関心を問う項目には肯定的な児童が多かった。

今後の取組(アクションプラン)

☆学習に於いては、児童一人一人の課題が顕著になっていて、特に算数科での「理解」の差異が大きい。習熟度別学習の充実を図っており一定の成果が出ていることから、今後も担任と習熟担当との綿密な打ち合わせの元、習熟度別学習を進めていく。

☆子どもたちにとって「楽しい学校」になるように、行事内容を精選し取り組み方を工夫することで達成感や成就感を味合わせるようにする。

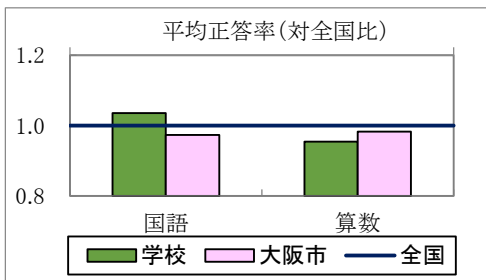
☆タブレットの持ち帰りやオンライン学習、オンデマンド教材の活用を通して、ICT機器の活用能力が上がっているので、今後も持ち帰りも含め授業での活用の充実を図っていく。

☆学級活動や児童会活動を進め、互いに認め合える集団づくりを通して、自己肯定感や自尊感情を高め、寛容な心を持ち、望ましい人間関係を築くよう指導を進めていく。

【 全体の概要 】

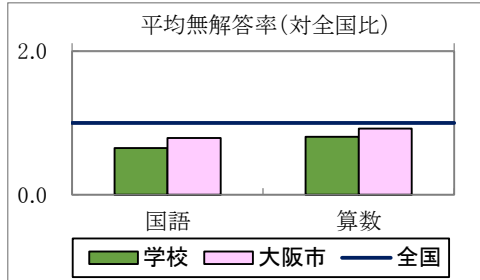
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	67.0	67.0
大阪市	63.0	69.0
全国	64.7	70.2



平均無解答率（％）

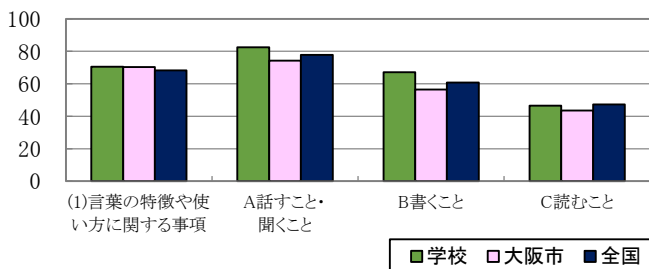
	国語	算数
学校	2.8	2.1
大阪市	3.4	2.4
全国	4.3	2.6



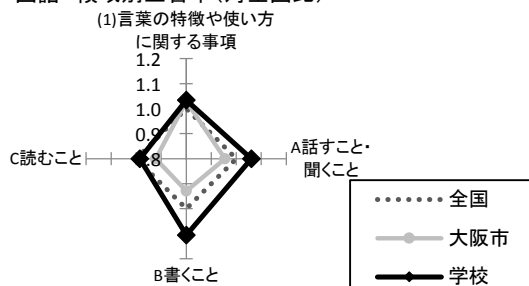
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使 い方に関する事項	6	70.6	70.3	68.3
(2)情報の扱い方 に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
(3)我が国の言語文 化に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
A 話すこと・聞くこと	3	82.5	74.3	77.8
B 書くこと	2	67.1	56.4	60.7
C 読むこと	3	46.5	43.5	47.2

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



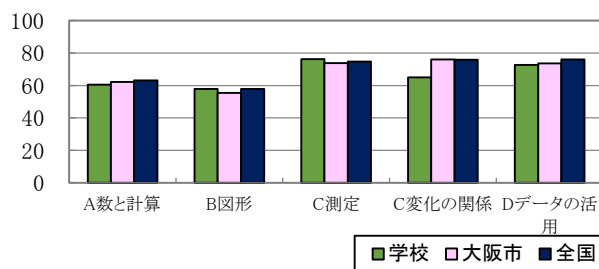
国語 領域別正答率(対全国比)



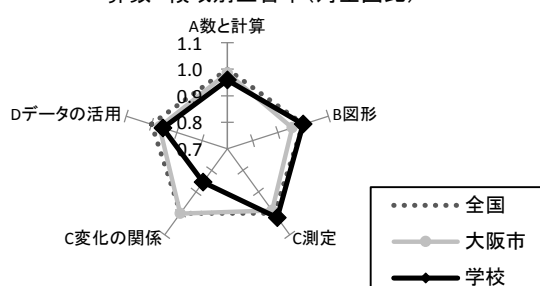
【 算 数 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	4	60.5	62.2	63.1
B 図形	3	57.9	55.4	57.9
C 測定	3	76.3	73.8	74.8
C 変化と関係	3	64.9	76.0	75.9
D データの活用	5	72.6	73.6	76.0

算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



算数 領域別正答率(対全国比)



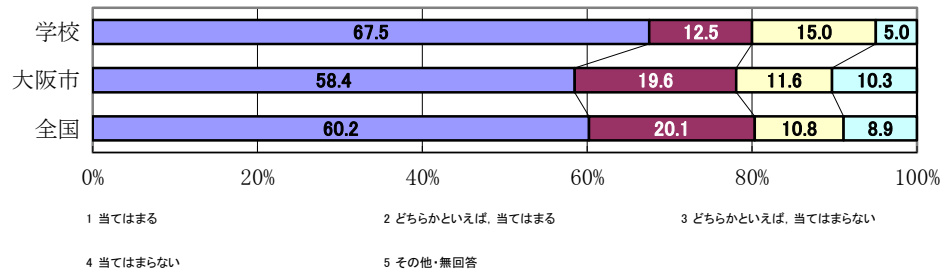
児童質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

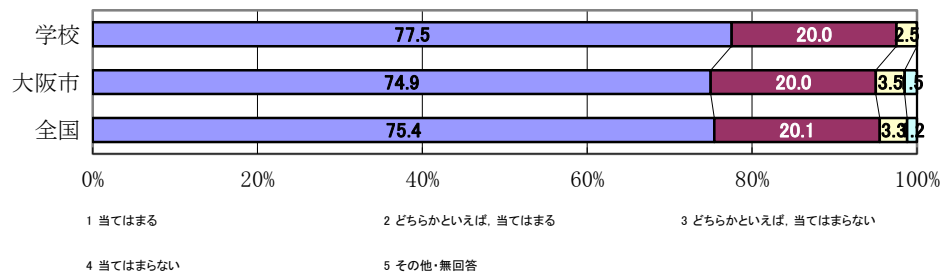
質問番号

質問事項

将来の夢や目標を持っていますか

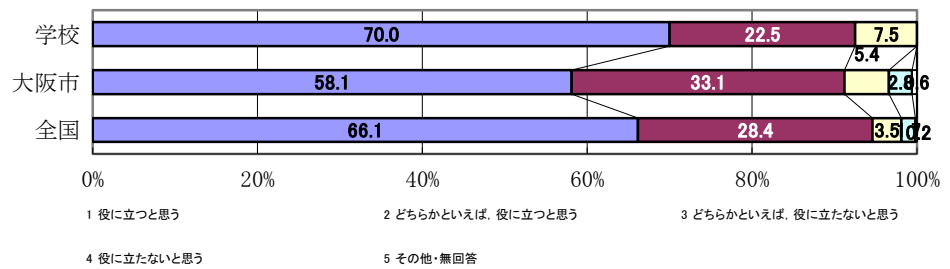


人の役に立つ人間になりたいと思いますか



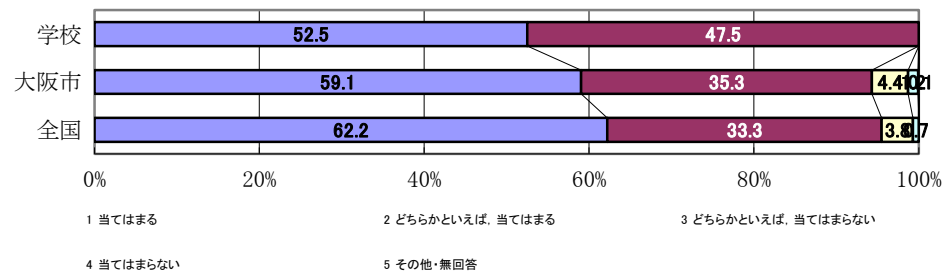
28

学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



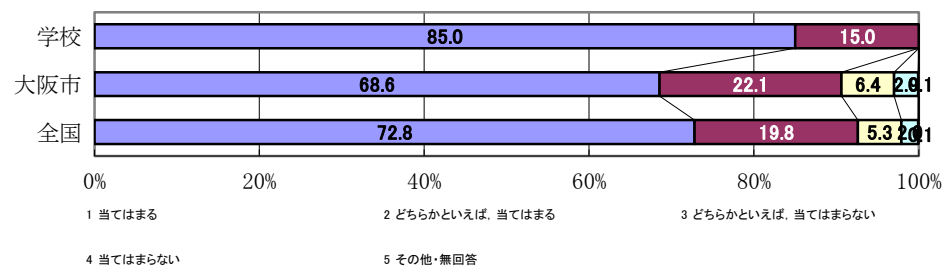
36

友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか



55

算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



児童質問紙より

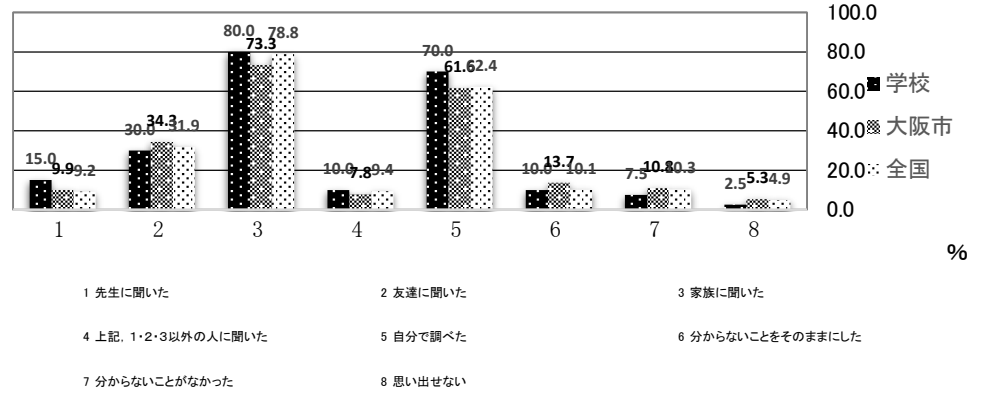
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

67

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか。当てはまるものをすべて選んでください



学校質問紙より

質問番号

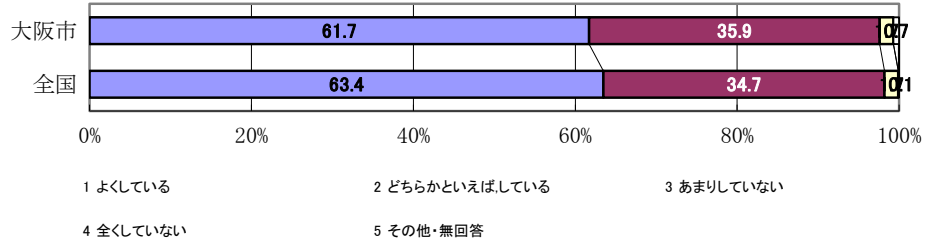
質問事項

23

授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか



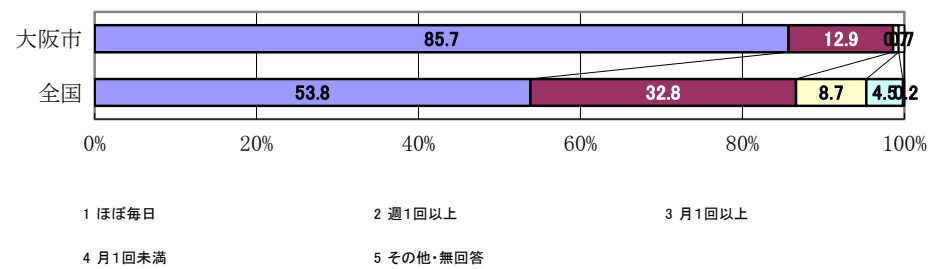
学校「よくしている」を選択



66

前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たり、どの程度行いましたか

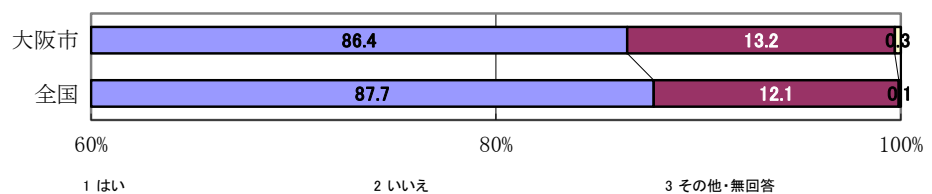
学校「ほぼ毎日」を選択



90_7

全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか
⑦課題が見られた点を中心として校内研修を実施し、授業改善に活用している

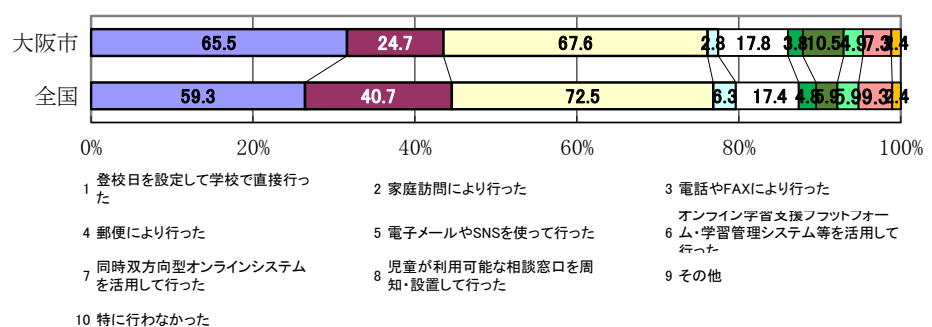
学校「はい」を選択



C3

学校の全部を休業としていた期間中、調査対象児童の学習状況や生活状況について、どのような手段で把握していましたか(複数選択可)

学校「登校日を設定して学校で直接行った」を選択



C10

新型コロナウイルス感染症の影響前(令和2年3月以前)と現在(令和3年5月)とを比較して、どのような変化があったと思いますか 教員の業務量

学校「」を選択

